

防除情報(病害虫情報 号外 第1号)

令和6年 4月9日
神奈川県農業技術センター

ナシ赤星病菌のビヤクシン樹上における冬孢子堆の膨潤状況

- ナシ赤星病の防除適期は、ビヤクシン樹上の冬孢子堆の成熟が進み、膨潤度が90～100になってから10日以内が目安です。
- 膨潤度は、4月8日に90.8に到達しました(表1)。

表1 膨潤度の推移

本年(令和6年)		前年(令和5年)		平年	
調査日	膨潤度	調査日	膨潤度	到達日	膨潤度
3月8日	33.0	3月10日	2.8	3月31日	50
3月13日	20.9	3月14日	11.1	4月9日	90
3月22日	33.0	3月20日	39.1		
3月27日	58.3	3月24日	78.7		
3月29日	70.6	3月27日	88.0		
4月1日	70.4	3月29日	96.2		
4月8日	90.8				
随時更新					

農業技術センター所内のビヤクシンで調査

* ナシ赤星病の病原菌は、ビヤクシン類を中間宿主として寄生し、ビヤクシン樹上に冬孢子堆を作ります。冬孢子堆は3月頃から気温の上昇に伴って少しずつ成熟し、膨潤して小生子を飛散し、ナシに感染します。よって、冬孢子堆の膨潤度を調べることで、赤星病の防除適期を知ることができます。

* 膨潤度は次により算出しています。

$$\text{膨潤度} = \{(3A+2B+C)/(3 \times \text{調査総数})\} \times 100$$

冬孢子堆膨潤程度 A: 全体が寒天状またはそれに近い状態に膨潤している
 B: かなりふくらむが小生子を形成できる部分が少ない
 C: 原型よりわずかにふくらむ
 D: 原型の大きさのまま

病害虫防除部
ホームページ

TEL 0463 - 58 - 0333

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。